

参加のお誘い

■私たちは、多くの方に日常の場面から離れて、ありのままの自分が、真剣に、ていねいに他者とかがわる体験ができる場を提供したいと思っています。HCLでは、グループでの体験を通して、自己表現、傾聴、共感、葛藤、合意、協働などを試みることができるでしょう。

■心理、教育、福祉、看護、ボランティアなど様々な対人援助や社会活動における基礎力を、体験を通して身につけ学ぶチャンスです。若いときに参加されることをお勧めします。

HCL研究会一同

HCLへの参加動機

- ・いろいろな人とかがわりたかった
- ・おもしろそう！ 好奇心で・・・
- ・対人関係をキチンと学びたい
- ・参加は初めての人ばかりだと聞いたから
- ・将来、対人援助職の仕事がしたいので
- ・学生のうちに、体験しておきたかった
- ・友人、先輩、先生などに勧められて
- ・内容が濃いのに参加費が安かった
- ・リーダーシップが身につくそうだから・・・
- ・グループを見る視点を養いたい



関西学院千刈キャンブ・センター棟

会場は、JR大阪駅から福知山線で約40分・三田駅からタクシーで約20分（当日、送迎あり）の研修施設です。プログラムは、センター棟内の研修室・ラウンジ・食堂を、宿泊は別棟の和風キャビンを使います。豊かな緑に包まれた環境での研修になるでしょう。

共催：関西学院千刈キャンブ

URL: http://www.kwansei.ac.jp/f_sengari/

協力団体：

特活）ブレンヒューマニティー

（青少年育成団体）

URL: <http://www.brainhumanity.or.jp/>

シチズンシップ共育企画（市民教育団体）

URL: <http://active-citizen.jp/>

HCL研究会・事務局

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学 人間福祉学部 川島研究室

電話/FAX: 0798-54-6177

E-mail: hcl.tgroup@gmail.com

URL: <http://hcl.seesaa.net>

Human
Communication
Laboratory

For Youth

ヒューマン
コミュニケーション
ラボラトリー



日程

2019年8月21日（水）13:00から
8月24日（土）15:00まで
＜3泊4日の宿泊研修＞

会場

関西学院千刈キャンブ
兵庫県三田市郊外

主催

HCL研究会

URL: <http://hcl.seesaa.net>

参加申込は！

日 程

2019年8月21日(水) 13:00 から
8月24日(土) 15:00 まで

<3泊4日>

会 場

関西学院千刈キャンプ

〒669-1507 兵庫県三田市香下1817-1

Tel: 079-563-5233 Fax: 079-563-5235

対 象

大学生・大学院生・30歳以下のユース
(全日程参加できる方)

定 員

18名(先着順で受付します)

参加費

30,000円

(研修費、滞在費、保険料等一切を含む)

(学生割引料金：25,000円)

● **申込締切：8月6日(火)**

E-mail：hcl.tgroup@gmail.com

- ・e-mailにて次の内容をお知らせください。
 - ・氏名・フリガナ・性別・年齢(8月時点)
 - ・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス
 - ・大学名・所属学部、学科、学年(所属団体)
 - ・参加を考えたきっかけ、動機など
(受付後、参加のしおりを送ります)
- HCL 研究会 URL：http://hcl.seesaa.net
(ここからでも申込が出来ます)
- ・詳しい情報や問い合わせは、HCL研究会へ
E-mail：hcl.tgroup@gmail.com

忙しい日常生活を離れ
自分・他者と
関わる時間をもちませんか
千刈の森が
豊かな時と空間を
与えてくれるでしょう

Q. どんなプログラムをするの？

A. プログラムの中心は、10名前後の小グループでの体験です。何ないところからグループが育っていくこと、そこで起こるさまざまな関わりを体験します。その他に全体会を行い、経験を共有して、学びを深めます。

Q. 研修を受けたら、 どんなことが得られるの？

A. この研修において得られるものは、自分や他者理解、対人関係能力、グループ・プロセスの理解などです。「いま、ここ」での体験は、日常での自らのあり方をとらえなおし、変化をもたらすでしょう。それは、対人援助や社会活動の基礎的な力となる「自己一致」「共感的理解」「受容」などを体験的に学ぶことができます。

● スタッフ

長尾 文雄(フリーランス/HCL研究会代表)
川島 恵美(関西学院大学人間福祉学部 准教授)
山本 智也(大阪成蹊大学教育学部 教授)
中西 美和(大阪女学院大学 教授) 他交渉中

Q. 参加した人の感想は？

A. 参加した人の代表的な感想は、「自分や他者を受け入れること、自分を丁寧に表現すること、グループの関わりを丹念に見る力がついた」といったものです。

参加後、心理・教育・福祉といった対人援助に関わる仕事をしている参加者からは、「相手の反応を見て、構えずに話せるようになり、自信がついた。」「なんでも自分でできるという思い込みが、自分の弱さだと気づいた。人と違うところも含めて、相手を理解したい」などの声として、寄せられています。

これらの感想から、HCLの体験は、一人ひとりに人間としてのあり方や態度を点検する機会を与え、日常生活とその人の活動に貴重な影響を及ぼしていることがうかがえます。

Q. この研修について、 もっと知りたい！

A. この研修は、アメリカの全米教育協会に属するNTL(National Training Laboratory)が、1947年以来実施している研修です。日本には、1958年に導入。民主的な社会を創りあげる市民を育てることをねらいとした研修です。参加者の一人ひとりを尊重し、参加者の主体的な関わりを前提とした実験的な体験が出来る学習の場です。この方式を対人援助活動をめざす学生の成長に活かすために、2000年に第1回を実施。今までの参加者は、約300人となっています。

フォローアップ研修(本研修のふりかえり)
2020年3月中旬の週末午後開催予定